

今、ここにある未来

‘シンプル’ ‘スモール’ ‘スロー’ の3つの種を撒こう

いいネマ開催要項

1. 主催 一般社団法人未来社会推進機構
2. 共催 古民家一休(PAUSE)
3. 協力 ナマケモノ倶楽部
4. 目的 サステイナブルでウェルビーイングな地域の未来を実現するため、地域の自然豊かな資源（自然資本）を生かし、関わる方々の共創（社会関係資本）を通じて、循環型経済圏（ローカリゼーション）の構築が必要と考えます。そこで、そのような考え方・生き方を広めていくために、自主上映会を開催します。
5. 入場料 1回あたり、1,000円(当日受付時) 申込不要
6. 申込方法 事前申し込みは不要です。(当日会場受付)
7. 問合せ先 一般社団法人未来社会推進機構 出澤（電話 0269-67-0520）

8. 内容

(1)第1回いいマネ

①日時 令和6年8月10日(土) 14時～16時（開場 13時30分）

②会場 飯山市文化交流館なちゅら 小ホール

③スケジュール

○映画上映 サティシュ・クマールの今、ここにある未来 with 辻信一

○ミニコンサート 風義(かぜよし) 挿入歌他

○パネルディスカッション(パネラー3名)

・テーマ「人と人、人と自然、今の世代と未来の世代をつなぎ直す、Slowムーブメント」

- ・パネラー ナマケモノ倶楽部 事務局長:馬場直子、シンガー:風義、
未来社会推進機構 副理事長:出澤俊明
- ・コーディネーター 古民家一休(PAUSE):ヒッピーがい

(2)第2回いいマネ

①日時 令和6年9月14日(土) 14時～16時 (開場 13時30分)

②会場 飯山商工会議所 2階 講習会・研修室

③スケジュール

○映画上映 ヴァンダナ・シヴァのいのちの種を抱きしめて with 辻信一

○ミニコンサート Yae(やえ) 挿入歌他

○パネルディスカッション(パネラー3名)

・テーマ「人と人、人と自然、今の世代と未来の世代をつなぎ直す、Slowムーブメント」

・パネラー ナマケモノ倶楽部 事務局長:馬場直子、シンガー:Yae

未来社会推進機構 副理事長:出澤俊明

・コーディネーター 古民家一休(PAUSE):ヒッピーがい

(3)第3回以降の「いいマネ」の予定

○第3回

- ・日時:令和6年10月12日(土) 14時～ 開場 13時30分
- ・会場:飯山商工会議所 2階 講習会・研修室
- ・上映映画:辻信一と歩く タシデレ(幸あれ)! 祈りはブータンの空に

○第4回

- ・日時:令和6年11月9日(土) 14時～ 開場 13時30分
- ・会場:飯山商工会議所 2階 講習会・研修室
- ・上映映画:サティシユの学校 みんな、特別なアーティスト

○第5回

- ・日時:令和6年12月14日(土) 14時～ 開場 13時30分
- ・会場:飯山商工会議所 2階 講習会・研修室
- ・上映映画:レイジーマン物語ータイの森で出会った”なまけ者

(4)上映映画の紹介

※第1回(8月10日(土))【サティシュ・クマールの今、ここにある未来 with 辻信一】

東洋と西洋の思想を併せもち、現代を代表するホリスティック思想の巨匠、サティシュ・クマール。「Soil(土)、Soul(心)、Society(社会)」の三位一体論をはじめ、「豊かさとは」、「仕事とは」、「食べること」、「眠ること」、「歩くこと」…など、危機の時代をポジティブに生きていくための考え方、暮らし方について、あたたかく、力強く、シンプルな言葉で語っていく。スローシネマシリーズの総合アドバイザーでもあるサティシュの英知と愛のエネルギーに満ち溢れた、記念すべきスローシネマ第一弾！

※第2回(9月14日(土))【ヴァンダナ・シヴァのいのちの種を抱きしめて with 辻信一】

文化人類学者の辻信一さんと現代エコロジーの巨匠・サティシュ・クマールさんが2009年より手がけるDVD「アジアの英知シリーズ」。待望の第四弾は、シリーズ初の女性、科学者であり環境活動家のヴァンダナ・シヴァさんに焦点をあてたドキュメンタリー。インド・ニューデリー、そして、ヴァンダナの故郷デラドゥンのナヴダーニャ農場にて、ヴァンダナさんが語る「TPP」、「遺伝子組み換え(GMO)」、「たねの未来」。インドの伝統的な宇宙観が示す「自由経済」、そして「生きる喜び」とは？農民とともにあり続けるヴァンダナさんの「闘うエコロジー」には愛と希望があふれていた！

※第3回(10月12日(土))【辻信一と歩く タシデレ(幸あれ)！祈りはブータンの空に】

ヒマラヤの小国・ブータン。“幸せの国”と言われるこの国にも、グローバル化の波は押し寄せ、人々を、経済発展や近代化へと駆り立てる。その一方で、GNHを国是に掲げ、それを盾に、豊かな自然環境や人々の信仰心、伝統文化を守ろうとするブータン。今、大きな岐路に立つこの国を、辻信一と盟友のペマ・ギャルポは、首都のあるティンプーから辺境の村へ旅をする。豊かさとは、幸せとは、発展とは、進歩とは…、その問いの筋道を辿りながら…。

※第4回(11月9日(土))【サティシュの学校 みんな、特別なアーティスト】

ガンディー思想の継承者サティシュ・クマールは、「ヒューマン・スケール(人間の身の丈に合った)教育運動」を展開する中、イギリス南西部にシューマツハー・カレッジを設立した。「ヒューマン・スケール教育運動」とは、本来の教育のあり方を取り戻そうとする運動のこと。サティシュは言う。「本来の教育とは、知識を詰め込むことではない。すでに備えられている“アーティストとしての自分”に気づくこと」と。「アーティストとは特別な人のことではない。誰もが特別なアーティストなのだ」と。サティシュの教育思想から、私たちの内にある想像力、創造性を呼び起こし、素晴らしい人生を、社会を、未来をつくりだしましょう。さあ、あなたも「サティシュの学校」へ。

※第5回(12月14日(土))【レイジーマン物語ータイの森で出会った”なまけ者”】

中南米の動物ナマケモノに出会ってから25年。ぼくはタイ北部の森で、今度は、自らを”なまけ者”と呼ぶ人間たちと不思議な縁で結ばれ、スローライフの極意を伝授された。——辻信一

インタノン山麓にあるノタオ村に、奇妙な縁で再会を果たした”レイジーマン”ジョニとナマケモノ教授こと辻信一さん。「なまけ者」の哲学はジョニから息子のスウェ、娘のムポへと引き継がれ、辻さんは彼らが森のなかで育てるコーヒーを飲み、ジョニの話聞き、学生たちを連れて通うようになっていた。少数民族を襲った戦争、麻薬、貧困、自然破壊…、絶望の淵から立ち上がり、カリスマ的な指導者となったジョニとその一家の物語。

(5)団体の紹介

【一般社団法人未来社会推進機構】

自然豊かな地域の資産(自然資本)を活かし、関わる方々との共創(社会関係資本)をつうじて、サステイナブルでウェルビーイングな地域の未来「1000年集落」を提案・実践しています。

【古民家一休(PAUSE)】

古民家一休/PAUSEは、飯山市西大滝にある空き家を「人生にちょっとした一休み」をテーマに、学生だけで運営するシェアハウス兼ゲストハウスを運営する団体です。(現在メンバーは、7名、内訳は、男性5名、女性2名。また、大学は、武蔵野大学6名、東京薬科大学1名)

- ① マイノリティの居場所になる ~僕たちと一緒に暮らすことで、サードファミリーという新しい文化を。
- ② 自然と共生する「暮らし」を実現 ~完璧じゃなくていい。暮らしながら作っていくパーマカルチャー。
- ③ 地域事業にし、地方創生したい。 ~地域とのコラボで輪を広げていきたい。田舎暮らしの良さを伝える。競争社会、比較社会、情報社会。いろんな「社会」からかけ離れた場所で「いま」に目をむける。マイノリティで、ゆっくりで、感情的な、そんな古民家を拠点として進めていきます。

【ナマケモノ倶楽部】

〇次の3つの柱で活動している NGO 団体。代表は辻信一

- ① 環境運動(森林保全、多様性保持のための活動)
- ② 文化運動(低エネルギーなライフスタイルの提案と実践)
- ③ スロービジネス(フェアトレード、社会的起業の応援)

Oslow シネマ カフェとは:

ナマケモノ倶楽部のドキュメンタリーを貸し出し、全国各地で上映会を行うプロジェクト。団体でも一般人でもよく、好きな時に好きな人が開催できる。

開催告知はナマケモノ倶楽部も協力してくれる。

(6)パネラーの紹介

(1)馬場直子 (8月10日、9月14日)

環境文化 NGO ナマケモノ倶楽部事務局長。

東京生まれ。明治学院大学国際学部卒。辻信一ゼミで環境とエコロジーについて学ぶ。卒業後は、都内のホテルの宿泊部門で勤務、ホスピタリティについて実践を積む傍ら、大学時代より参加しはじめたNGO活動にも継続的に関わる。

1999年、ナマケモノ倶楽部設立ミーティングに参画、事務局職を引き受け、現在に至る。セヴァン・スズキをはじめとする海外ゲストの来日ツアー、国内におけるスローライフ啓発キャンペーン、ブータン・韓国などへの

スローツアーの企画運営を担う。2009年より始まったDVD「アジアの叡知シリーズ」では制作補として撮影・編集、広報に携わる。2児の母。

<https://www.sloth.gr.jp/>

(2)風義(かぜよし) (8月10日)

大分県日田市生まれ、上京後、現在長野市に在住する。

シンガーソングライター、サウンド制作、作詞作曲支援・指導、舞台照明家

なお、ナマケモノ倶楽部制作のDVD「サティッシュ・クマールの今、ここにある未来 with 辻信一」では、「つぼみ」という挿入歌を、「ヴァンダナ・シヴァのいのちの種を抱きしめて with 辻信一」では、「やまずめめぐる」、「種まきソング」の2曲の挿入歌を歌っている。

(3)出澤俊明(8月10日、9月14日)

長野県飯山市瑞穂北原区生まれ。法政大学経済学部経済学科卒業後、飯山市役所に入庁。移住、観光、農業や林業、ビジネスと市の課題に取り組み、経済部長を努めて定年退職。一般社団法人未来社会推進機構副理事長に就任。地域と共同で活性化策を進めるエリアマネージャーも務める。

(4)Yae(やえ) (9月14日)

東京生まれ。故藤本敏夫・歌手加藤登紀子の次女。

2001年ポニーキャニオンからアルバムCD「new Aeon」でデビュー。

存在感あふれる「声」で各地にファンの和を広げ、NHKみんなのうたや人気ゲームソフト、ウォルトディズニースター110周年記念作品ディズニー映画「くまのプーさん」の主題歌を歌唱。

Yaeの代表曲「名も知らぬ花のように」は、日本ユニセフ協会の東北大震災応援メッセージCM「ハッピーバースデー3.11」、2015年TBSテレビ60周年企画ドラマ 松嶋菜々子主演「レッドクロス～女たちの赤紙」の挿入歌として起用され反響を得る。小田急ロマンスカーテレビCMのテーマソング「ロマンスをもう一度」(~2018.5)も注目される。

海外ではキューバ音楽祭、サンフランシスコでの世界平和音楽賞の授賞式などに参加。

2016年はデビュー15周年の記念アルバム「alive ~今ここに生きている~」をリリースし、全国24公演ツアーを開催。

2018年には母 加藤登紀子プロデュース「未来への詩(うた)」コンサートをスタートさせる。

2020年10月7日に20周年記念アルバム「On The Border」をソニー・ミュージックダイレクトよりリリース。同年11月10日には、東京渋谷伝承ホールにて、20周年記念コンサートを開催し全国ツアーも予定している。

現在は、三児の母となり、家族とともに自然豊かな里山「鴨川自然王国」で、農を取り入れたスローライフを送り、ラジオのパーソナリティも務めながら全国でライブ活動を行っている。

福島県飯館村「までい大使」(2011年1月~)、環境省「つなげよう、支えよう、森里川海プロジェクト」のアンバサダーとしてメッセージを発信するなど、国内外を問わず、社会貢献の支援イベント等へ積極的に参加している。

なお、ナマケモノ倶楽部制作のDVDの「サティッシュ・クマールの今、ここにある未来 with 辻信一」では挿入歌を歌っている。

(7)コーディネーターの紹介

上野我唯(ヒッピーがい) (8月10日、9月14日)

アースデイ東京ユース代表。武蔵野大学アントレプレナーシップ学部1年。マレーシアのボルネオ島で育ち、高校時にはオリジナル絵本の制作、フリースクールの先生、著書『わたしたちからはじまるSDGs』の企画協力に携わる。現在は環境教育を切り口に中高生の活動家を増やすため、活動中。なお、古民家一休(PAUSE)の代表を務める。